資料１

令和７年度防府市図書館サービス振興基本計画実施状況の委員評価

記号の見方：●課題、○評価、◇要望、◎質問　※その他

１．誰もが等しく学べる、豊かな資料と機能を持つ図書館	２．地域の人々と手を携えて、豊かな交流の場を創る図書館	３．生涯学習活動の拠点として、集会文化活動に力を入れ、地域の力を高める図書館
●図書資料の館外個人貸出冊数は、人口一人当たり５冊以上が望ましい。 ○館外個人貸出者数が増加しているので良い。 ○児童冊子や電子書籍の購入は、計画を上回り、評価できる。 ○年２回、全開架資料を点検されることは素晴らしい。 ○例年以上に広報活動に力を入れられていることは評価できる。 ○移動図書館車もよく実施されており、事業の継続と多面的な広報活動を期待する。 ○防府市内の公民館に設置されている地域文庫は良い。限られた本棚から思わず手に取る面白さ、みつける喜びがある。 ○防府図書館の音訳ボランティアグループ「翠の会」が作成した視覚障害者向けの音訳カセットテープを、デジタルデータに変換した「郷土作家の音訳資料」を積極的に公開(提供)されていること、さらには対象作家を拡大されていることは評価できる。(確か昨年は、「郷土作家那須正幹氏の作品４点を音訳資料として電子図書館に登録しました」とあった) ◇若い年齢層に向けて、さらにSNS等で積極的に情報発信していくとよい。 ◇駅近くにある図書館であり、利便性については申し分ないので、その強みを生かして広報活動を継続していけばよい。 ◇郷土作家は、髙樹のぶ子、伊集院静の他にも、最近の著者の方々も、掘り起こしてほしい。 ◇電子図書館について、知ってもらう機会をもっと増やしてほしい。 ◇紙とデジタルの両方をうまく使い分けながら、だれもが本に親しめる環境をつくっていくことが大切だと思う。 ◇レファレンス等研修はオンライン実施も多くなっており、積極的受講を望む。 ◎一般以外は昨年度とあまり差がないが、一般利用者が増えた理由が何かあれば、教えていただきたい。 ◎『令和７年度図書館年報』P.5ウに「延滞資料について、電話・葉書・Eメール等により定期的に返却を督促」とあるが、年間どの程度あるのか。(人数や期間) ◎R7年６月から児童書の電子書籍「読み放題パック」の提供を始められているが、約１年経過して、どのくらいの利用があったか、わかる範囲内で教えていただきたい。 ◎『令和７年度図書館年報』のP.25の(3)電子図書館の貸出回数で児童が大幅に減っているのは、児童書読み放題パックと何か関連があるのか。 ◎図書購入冊数減少は、(一般 6,396→5,482、児童 2,803→2,759、郷土 59→52)電子書籍購入が増加したことが理由なのか。また、今年度購入冊数の記載のうち、その他 86 冊は、どんな本なのか。 ◎電子書籍購入冊数は、予算内で購入できたのか。他の予算を削減したということはあるのか。また、「購入冊数」と「タイトル数」とは、どのように違うのか。 ◎閉架書庫の点検は、どのくらいのペースで行われているのか。その間は休館にしているのか。利用者からのクレーム等はないか。 ◎広報活動に力を入れていることに対して、利用者の反応はあるか。たとえば、「山口ケーブル	○ボランティアとの協働等、よくできており、評価できる。 ○「子ども読書フェスティバル」と「防府図書館まつり」はボランティアと職員の一体的協働による実施が継続しており、大いに喜ばしい。地域の人々と作り上げている。 ○図書館まつりには、高校生に加えて、中学生ボランティアが参加したことは素晴らしい。 ○ボランティア養成講座の新たな取組を評価する。特に児童書マスター養成講座は、いろいろな年代の方の参加があり、みんなが学べて良かった。 ◇ボランティアの高齢化とよく言われるが、若年層が図書館まつりなどに参加することによって、図書館の魅力を感じ取り、図書館のサポーター、支援者になっていただけるよう継続を期待する。ボランティアの側も参加者のこどもたちと会話しながら楽しく活動していた。 ◇図書館まつりについて、午前中は参加者が多いが午後の参加者が少なく、何かいい対策を考えてほしい。 ◇昨年度、駅前やルルサス、アスピラートでのイベントなどとタイアップすることも必要であると意見を出したが、防府市制 90 周年記念の「ヨシタケシンスケ展」はかなり盛況であった。図書館単独のイベントも大切であるが、複数の施設と協働して、交流の場を作るとさらに効果的だと思う。 ◇図書館内の催し物をもっと増やして、いろんな年齢層の来館者が集まる交流の場になればよい。 ◇読み聞かせや絵本は読書の入り口になると思う。今後もボランティア活動として「読み聞かせを楽しむための第一歩」や「絵本の世界を伝える」などの活動を継続してほしい。 ※図書館ではボランティアとの協働等よくやっているが、継続的な運営ができるよう、今後も政策的・組織的バックアップが必要。	○事業実施内容が多岐に渡り、参加者が増加しているため、評価出来る。 ○「大人のくらし塾」は、主に高齢者を対象として、実際に暮らしに役立つ講座、他機関の専門家を招いて開催されていることは素晴らしい。意欲的な取組を評価する。 ○毎年、利用者懇談会を開催されていることが評価できる。 ○資料展示は、毎回素晴らしいと思う。防府図書館の個性あふれたものである。 ○「図書館クラブ」のメンバー(中学生)が作成したおすすめの本のPOPの展示を行った際、その展示に図書館職員が指導にあたったことは、素晴らしい。無理のない範囲で、当該企画を進めてほしい。 ◇「子ども読書フェスティバル」や「図書館まつり」が年々人々に知られ、たくさんの入場者であふれることは喜ばしい。これらにより図書館の来場者が増えればよい。 ◇新たな取組を行うことも大切かもしれないが、現在行っているイベントを整理統合していくことも必要である。 ◇資料展示や展覧会業務は回数が多く、企画や準備が大変だと思うが、来館した方には今回はなんだろう、という来館する楽しみの１つになるので、今後も取り組んでほしい。 ◇展示について、「絵本大賞の本」「子どもに読んでほしい本100選の本」「JBBY日本国際児童図書評議会のおすすめ！日本と世界の子どもの本」等をしてはどうか。ポスターが掲示してある時は、同時に本の展示をしてもらえると手に取りやすいと思う。 ◇地域で活動している団体を取り上げ、紹介するなどして、図書館だけでなく地域ぐるみで読書活動を推進していることをアピールするのもよいと思う。 ◎「大人のくらし塾」の時にも、図書館所蔵の関係図書の展示はされているのか。 ◎利用者懇談会に参加される方は、毎年同じような方なのか。『令和７年度図書館年報』(8頁)に、参加者からさまざまな意見をいただいたと記載があるが、どのような意見が出て、それに対して、どのような対応をされたのか聞きたい。

で図書館まつりがあることを知ったので、来てみた」などの反応があれば、聞きたい。 ◎視覚障害者向けの音訳カセットテープを、デジタルデータに変換したのは、図書館職員なのか。また、電子図書館へ登録するのも図書館職員なのか。		※ライぶらりを実施する機会がなかったので残念。 ※市内中学生による図書館クラブ開始とその展示等の活動に期待したい。

記号の見方：●課題、○評価、◇要望、◎質問　※その他

４．地域の歴史や文化を大切にするとともに、国際理解を深めていく図書館	５．様々な教育文化施設とのネットワークを進め、サービスする図書館	６．こどもたちの読書活動を進めていく図書館	７．障害者や高齢者に優しい図書館
○上山満之進翁顕彰の取組（パネル展示、バナーや案内板設置等）は、評価出来る。 ○例年通り、防府史料 75「周南先生文集初編十」を刊行し、電子図書館へ登録・公開されたことは、十分に評価に値する。また、郷土資料がログインなしで読むことができるのは素晴らしい。 ○地域の歴史や文化に係る事業を積極的に行うことは、防府図書館の特色のひとつであり、強みであると評価できる。 引き続き、実施されることを期待している。 ◇情報収集と発信が必要だが、難しさがある。（他部局、機関との連携が必要） ◇歴史ある防府市は、素材には事欠かないはずなので、他の機関と連携しながら進めていくとよい。 ◇防府市出身の偉人については、歴史上の人物や、今まで取り上げた人物以外をクローズアップしてもよいと思う。 ◇市役所８階文化センターで開催の「上山満之進と東台湾臨海道路」特別展で絵画「東台湾臨海道路」が公開された。資料・式服・胸像が展示され、多くの来場者があったと聞く。今後も、上山満之進翁の功績を多くの方に広めてほしい。 ◎昨年は、郷土紙芝居の貸出 81 回とあり、貸出数増で評価がＡだったが、今年はどうか。年々増えているか。（紙芝居のコーナー自体がわかりにくいので、郷土紙芝居もわかりにくいと思うが）	○学校支援図書の貸出や学校司書との連携など学校図書館の重視を高く評価する。 ○図書館同士だけではなく、ソラールやアスピラート、山頭火ふるさと館との連携がある。こうした連携・活動の多様化がみられ、非常に良い。 ○市文化振興課による「上山満之進特別展」は大好評であり、図書館の資料・遺品等の協力は大変喜ばしい。【4 にもある。連携としての評価】 ○例年通り、防府市文化振興財団内連携事業を開催されたことは、指定管理者である文化振興財団が運営している防府図書館ならでの特徴のひとつであり、評価できる。継続を強く希望する。 ○市高齢福祉課や文化振興課との連携業務を積極的にされており大変評価できる。図書館職員の方の負担にならない程度で、上記の部署はもとより、他部署との連携もできるとよい。 ◇学校図書館との連携は必須であると思うが、学校の教職員に負担のかからないような配慮は必要であると思う。 ◇本好きなこどもの育成には、学校の図書館活動が大切。図書館からの支援が必要である。頑張ってほしい。 ◇行政との連携は、もっと増やせるのではないかと思うので、図書館からのアプローチにも期待したい。 ◎野島地域文庫の利用状況はどうか。本の交換は、どれくらいなのか。	●「防府市図書館を使った調べる学習コンクール」の応募点数が、小学 47→25、中学 18→7 に減少している。出品数の増加は課題である。 ○「読み放題パック」は評価できる。（昨年の委員の意見） ○毎年「読書感想文教室」を開催されていることは素晴らしい。図書館職員にはかなり負担になるかと思うが、継続していただきたい。 ○図書館クラブへの POP 展示の指導は、中学生の興味・関心を広げるものとなった。図書館の支援を評価する。もっと周知され、図書館を身近に感じてほしい。 ○イベントや展示等については工夫があり、よくやれていると思う。 ◇こどもの利用者自身がどうしたらよいか、何をしたいかを考える場もあってもよい。現在も行っていると思うが、こどもの利用者の生の声を拾い上げて、図書館サービスに反映することができれば、また利用したいというこどもが増えるかもしれない。 ◇図書館見学には 8 件 487 人。各小学校の社会見学のコースに図書館を入れてもらうように要望してほしい。 ◎調べる学習コンクールの応募点数が増加するために、工夫されていることがあれば、教えていただきたい。「チャレンジ！調べる学習」以外にされていることが知りたい。 ※家庭や学校の温かい人間関係の中で営まれる読書活動によって、こどもたちの日常がもっと潤いのある生活になれるよう願う。 ※応募者多数の「読書感想文教室」や「チャレンジ調べる学習」の参加者による各コンクールでの成果を期待したい。 ※市内の小学校の学校図書館を使用させてもらったことがあるが、とても開放的で良かった。職員の方々もいろいろな図書館を見学、交流に行くことができると参考になると思う。	●障害者の方の欲求は、表面化するものは少なく、場所を図書館に限定すると難しい。課題だと思う。 ○計画通り実施できたと評価Ａをつけておられる。今後も継続をお願いしたい。 ○障害児を持つ保護者の集いにおいて、説明を実施したことは、評価できる。利用につながる一歩と思う。 ○読書バリアフリーに向けた特別な配慮を要するこどもを対象とした「りんごの棚」設置を高く評価する。また、表示が大きくなり見やすくなった。 設置について、一般の方へもっとアピールされるとよい。 ○市障害福祉課の協力による相談支援事業所の相談支援専門員会議及び障害児を持つ保護者の集いで説明されたことは素晴らしい。これからも、関係団体との連携を期待する。 ◇障害者や高齢者の生の声を聞き、図書館のサービスに落とし込んでいくことが必要である。 ◇文字を読むことに負担がある方でも、文字に触れる機会が確保できるので、オーディオブックの蔵書が今後、充実していくと良い。 ◇駅近にありながら、入り組んだ公共施設の 3 階にあることで、図書館の場所がわかりにくいのが残念だ。信号機や電柱など図書館の表示をするなど、設置を要望する。

令和7年度防府市図書館サービス振興基本計画　実施状況評価表

資料２

評価基準　A:計画通り実施し、一定の成果があった。
B:概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った。
C:不十分な点や課題が多く、計画通りに行かなかった。

1　誰もが等しく学べる、豊かな資料と機能を持つ図書館

（1）市民の日常生活、学習活動に寄与する、質・量ともに充実した資料を持つ図書館

R7年度事業計画	①資料収集業務 ・「防府図書館資料収集要綱」に基づく適正な選書・収集と質・量両面の充実 ・図書購入目標冊数7,500冊。内一般5,700冊、児童1,700冊、郷土関係100冊 ・視聴覚資料購入目標点数130点。内CD100点、DVD30点 ・電子書籍購入目標冊数1,500冊 ②資料分類・目録整備業務 ・迅速・正確な資料の組織化(分類・目録)、装備と分かりやすいOPAC(オンライン閲覧目録)の提供 ③書架管理・蔵書点検業務 ・書架の整理整頓、全開架資料の蔵書点検の実施(10月・3月) ④資料提供業務 ・正確・迅速な貸出、返却、登録、予約・リクエスト受付業務の推進
事業実施状況	・令和7年度館外個人貸出者数138,725人、館外個人貸出冊数490,945冊 ・電子図書館登録者数46,695人、電子書籍閲覧数31,978冊 ①資料収集業務 ・「防府図書館 資料収集要綱」に基づいて適正な選書・収集を実施 ・図書購入冊数8,379冊。内一般5,482冊、児童2,759冊、郷土関係52冊、その他86冊 ・視聴覚資料購入点数110点。内CD75点、DVD35点 ・電子書籍タイトル数4,420冊 ②資料分類・目録整備業務 ・迅速・正確な資料の組織化(分類・目録)、装備と分かりやすいOPAC(オンライン閲覧目録)を提供 ③書架管理・蔵書点検業務 ・書架の整理整頓、全開架資料の蔵書点検を実施(10月7日（火）・8日(水)・9日(木)、3月3日(火)・4日(水)・5日(木)） ④資料提供業務 ・貸出、返却、登録、予約・リクエスト受付業務を迅速・適正に遂行
課題等	閉架書庫の所蔵資料の整理及び良質なコレクションの形成
自己評価	概ね計画通り実施できた　　評価　B

（2）老若男女を問わず、様々な立場の人が、誰でも気軽に楽しく利用できる図書館			
R7年度事業計画	①コンピュータシステム管理業務 ・円滑な運用によるサービスの強化 ・Web上での検索・予約・貸出期間延長、読書手帳、My本棚、読書マラソン等の機能の活用 ②情報発信(広報)業務 ・ホームページの整備、充実 ・「ほうふ図書館だより」「ほうふとしょかんこどもしんぶん」「新刊紹介」の発行(月刊)、市広報「ほうふ」・防府市文化振興財団広報紙「イベントアイ」・防府市文化振興財団広報紙「メールマガジン」・「防府市メールサービス」・地域情報誌「ほっぷ」への記事の掲載、「インスタグラム」への投稿、地域コミュニティーFMラジオやケーブルテレビ等の活用の推進 ③図書館年報作成業務 ・「令和6年度図書館年報」(一般用・子ども用)の発行(5月31日(土)) ④サービス環境整備・安全対策・危機管理業務 ・施設・設備・備品の日常点検と安全で快適な利用環境の整備、的確な状況把握と防犯管理、危機管理体制の改善と整備(定期避難訓練2回実施) ⑤利用マナー啓発業務 ・「マナーアップキャンペーン」「グッドマナーチャレンジ」(7月2日(水)～8月31日(日))の実施		
事業実施状況	①コンピュータシステム管理業務 ・Web上での検索・予約・貸出期間延長、読書手帳、My本棚、読書マラソン等についてホームページ上で紹介 ②情報発信(広報)業務 ・ホームページの情報を随時更新し、利用者が必要とする情報を適宜わかりやすく提供 ・「ほうふ図書館だより」「ほうふとしょかんこどもしんぶん」「新刊紹介」を毎月発行、行事関係チラシ等をその都度作成するとともに、市広報「ほうふ」・防府市文化振興財団広報紙「イベントアイ」・地域情報誌「ほっぷ」、防府市商工会議所会報「幸せます」へ定期的に記事を掲載、「防府市メールサービス」・防府市文化振興財団広報「メールマガジン」へ随時記事を掲載、地域コミュニティFMラジオ（FMわっしょい「防府市からのお知らせ　情報モリモリ」）に毎月第2・4木曜日に出演、山口ケーブルビジョンのニュース番組「まちかどNEWS」（5月22日(木)、10月10日(金)）に出演 ・「インスタグラム」で行事等のお知らせや図書館のPR、本や作家に関するミニコラムなどの情報を発信 ・航空自衛隊防府北基地に所属する航空学生67名に対して、防府図書館及びそのサービスについて紹介(7月14日(月))、結果、67名が図書館利用カードを作成 ③図書館年報作成業務 ・令和6年度「図書館年報」(一般用)・「数字で見る防府図書館」(子ども用)を発行(5月31日(土)) ④サービス環境整備・安全対策・危機管理業務 ・設備・備品の点検と修理を随時実施し、恒常的で計画的な清掃業務を実施 ・保安・警備・防犯対策の一環として、施設管理会社との協議を毎月開催 ・AEDや防犯カメラの点検を毎日開館前に実施 ・ルルサス消防避難訓練（10月9日(木)）に参加、図書館単独の防災訓練（3月5日(木)）を実施 ・新型コロナ感染拡大防止対策として、受付カウンターのビニールシート壁及び入口の体表検知カメラと足踏み式消毒スタンドの設置を継続 ⑤利用マナー啓発業務 ・「マナーアップキャンペーン」を実施して（7月2日(水)～8月31日(日)）、「グッドマナーチャレンジカード」を配布し、来館5回の達成者は82人		
課題等	館内環境整備（閲覧用椅子の買い替え）※閲覧用椅子は順次更新中		
自己評価	概ね計画通り実施できた	評価	B

（3）図書館から遠い所に住んでいる人にも、サービスできる図書館				
R7年度 事業計画	①移動図書館車「わっしょい文庫」運行業務 ・移動図書館車「わっしょい文庫」に常時3,500冊の図書を積載し、6コース37ステーションを2週間に1回の周期で巡回 ・コース、ステーション等の半年毎の見直し ・地域イベント等に合わせた移動図書館車臨時出張サービスの実施 ②電子図書館運営業務 ・インターネットを利用する電子図書館システムの利用促進			
事業実施 状況	①移動図書館車「わっしょい文庫」運行業務 ・移動図書館車「わっしょい文庫」に常時3,500冊の図書を積載し、6コース37ステーションを2週間に1回の周期で巡回 ・⑥コースのアルク中関店の改修工事に伴い、同ステーションの利用が不可能になった間（8月下旬～10月上旬）は、近隣のJA防府南支所を代替 ・①コース牟礼公民館ステーションは新築移転のため、ステーション名は変わらず、場所が移動（10月29日(水)～） ②電子図書館運営業務 ・電子図書館を管理運営、システムを適切に管理運営し、普及活動を推進 ・児童書の電子書籍「読み放題パック」提供開始（6月1日（日）～） ・郷土作家髙樹のぶ子氏及び伊集院静氏の音訳資料をデジタル化し、電子図書館に公開（7月30日（水）、3月25日（水））伊集院氏の作品は、障害者等用サービス「ひなぎくネット」登録者のみ利用可能			
課題等	移動図書館車と電子図書館の利用促進			
自己評価	児童書の電子書籍「読み放題パック」を提供した 郷土作家の音訳資料をデジタル化し、公開した		評価	A

（4）調査・研究・読書相談などに、的確に対応できる図書館				
R7年度 事業計画	①レファレンス（調査研究相談・読書相談）業務 ・調査研究活動支援、資料利用案内、読書案内等のレファレンスサービスの推進 ・国立国会図書館の「図書館向けデジタル化資料送信サービス」閲覧業務の利用促進と「レファレンス協同データベース」の活用 ・他の図書館や機関等に問い合わせたり案内したりするレフェラルサービスの推進 ・レファレンス事例集や新着図書案内・パスファインダー(テーマ別資料利用案内)等の充実 ・レファレンス研修、フロアワークの強化 ②図書館資料の複写サービス業務 ・著作権法や防府市手数料条例に基づく適正な複写サービスの実施			
事業実施 状況	①レファレンス（調査研究相談・読書相談）業務 ・調査研究活動支援、資料利用案内、読書案内等のレファレンスサービスを実施 ・子どもカウンターにおいて資料利用案内・読書案内を実施 ・国立国会図書館の「図書館向けデジタル化資料送信サービス」について、チラシやホームページで紹介するとともに、「レファレンス協同データベース」を活用してのサービスを実施 ・他の図書館や機関等に問い合わせたり案内したりするレフェラルサービスを実施 ・レファレンス事例集や新着図書案内・パスファインダー（テーマ別資料利用案内）等を作成・整備 ・利用者へのサービスをより充実させるため、レファレンス研修に参加 ②図書館資料の複写サービス業務 ・著作権法や防府市手数料条例に基づく適正な複写サービスを実施			
課題等	職員のレファレンス能力の向上			
自己評価	概ね計画通りできた		評価	B

【図書館協議会の意見】
1-(1) 図書資料の館外貸出冊数は、人口一人当たり5冊以上を目指してほしい。
1-(1) 館外個人貸出者数が増加しているので良い。
1-(1) 児童書や電子書籍の購入は、計画を上回り、評価できる。
1-(1) 年2回全開架資料を蔵書点検することは素晴らしい。
1-(2) 例年以上に広報活動に力を入れられており、評価できる。
1-(2) 若い年齢層に向けて、さらにSNS等で積極的に情報発信していくことを望む。
1-(2) 駅近くにある図書館であり、利便性については申し分ないので、その強みを生かして広報活動を継続していけばよい。
1-(3) 移動図書館車もよく実施されている。事業の継続と多面的な広報活動を期待する。
1-(3) 防府図書館の音訳ボランティアグループ「翠の会」が作成した視覚障害者向けの音訳カセットテープを、デジタルデータに変換した「郷土作家の音訳資料」を積極的に公開(提供)されており、評価できる。さらに、対象作家を拡大されていることも評価できる。
1-(3) 防府市内の公民館に設置されている地域文庫は良い。限られた本棚から思わず手に取る面白さ、みつける喜びがある。
1-(3) 郷土作家については、髙樹のぶ子、伊集院静の他に、最近の著者の方々も掘り起こしてほしい。
1-(3) 電子図書館について知ってもらう機会をもっと増やしてほしい。また、紙とデジタル資料の両方をうまく使い分けながら、だれもが本に親しめる環境をつくっていくことが大切だと思う。
1-(4) レファレンス等の研修はオンライン実施も多くなっている。図書館職員の積極的な受講を望む。

2　地域の人々と手を携えて、豊かな交流の場を創る図書館

（1）様々な図書館事業を利用者と協働して行い、学習交流の場、コミュニティセンターとしての機能を持つ図書館

R7年度事業計画	①ボランティア団体・生涯学習グループ等との協働推進業務 ・第14回「防府市子ども読書フェスティバル」(6月8日)、第35回「防府図書館まつり」(10月19日)を、各実行委員会、ボランティア団体等と協働で開催		
事業実施状況	①ボランティア団体・生涯学習グループ等との協働推進業務 ・第14回「防府市子ども読書フェスティバル」を6月8日（日）に、第35回「防府図書館まつり」を10月19日（日）に、各実行委員会、ボランティア団体等と協働で開催		
課題等	ボランティア団体及び生涯学習グループへの新規加入者の確保		
自己評価	概ね計画通りできた	評価	B

（2）学習ボランティアや、障害のある利用者のためのボランティアが、いきいきと楽しく活動できる図書館

R7年度事業計画	①ボランティア活動推進業務 ・「防府図書館ボランティア連絡会議」を開催(1月) ・「図書館ボランティア養成講座」を開催(4回)		
事業実施状況	①ボランティア活動推進業務 ・「防府図書館ボランティア連絡会議」を開催（1月29日（木）） ・「図書館ボランティア養成講座」は、「知って得する図書館活用の達人！養成講座」と称して「図書館資料の「背ラベル」が表す意味－請求記号（所在記号）の基本のき－」を開催（8月21日（水））さらに、「子どもと本をつなぐ　児童書マスター養成講座」と題して「ブックトークのすすめ」（2月19日（木））、「読み聞かせを楽しむための第一歩」（2月28日（土））、「絵本の世界を伝える」（3月7日（土））を開催		
課題等	新たなボランティアの養成とスキルアップ		
自己評価	概ね計画通りできた	評価	B

【図書館協議会の意見】
2　　ボランティアとの協働等、よくできており、評価できる。
2-(1)　「子ども読書フェスティバル」と「防府図書館まつり」はボランティアと図書館職員の一体的協働による実施が継続しており、大いに喜ばしい。地域の人々と作り上げている。
2-(1)　図書館まつりに、高校生に加えて、中学生ボランティアが参加したことは喜ばしい。ボランティアの高齢化とよく言われるが、若年層が図書館まつりなどに参加することによって、図書館の魅力を感じ取り、図書館のサポーター、支援者になっていただけるよう継続を期待する。ボランティアの側も、参加者のこどもたちと会話しながら楽しく活動していた。
2-(1)　図書館まつりについて、午前中は参加者が多いが、午後の参加者が少ない。何かいい対策を考えてほしい。
2-(1)　昨年度、駅前やルルサス、アスピラートでのイベントなどとタイアップすることも必要であると意見を出したが、防府市制90周年記念の「ヨシタケシンスケ展」はかなり盛況で、図書館もタイアップして展示を行っていた。図書館単独のイベントも大切だが、今後も複数の施設と協働して交流の場を作ると、さらに効果的だと思う。
2-(1)　図書館内の催し物をもっと増やして、いろんな年齢層の来館者が集まる交流の場になればよい。
2-(2)　ボランティア養成講座の新たな取組を評価する。特に児童書マスター養成講座は、いろいろな年代の方の参加があり、良かった。
2-(2)　読み聞かせや絵本は、こどもたちにとって読書の入り口になると思う。今後もボランティア活動として参考になる「読み聞かせを楽しむための第一歩」や「絵本の世界を伝える」などのボランティア養成講座の継続を望む。

3　生涯学習活動の拠点として、集会文化活動に力を入れ、地域の力を高める図書館

（1）様々な図書館行事を積極的に行い、地域の文化発展に貢献する図書館

R7年度 事業計画	①イベント・懇談会業務 ・「ワークショップ」 第14回「防府市子ども読書フェスティバル」(6月8日）において、ワークショップを開催 ・「防府図書館ビブリオバトル」の開催(11月・3月） ・「月いちキネマ」の開催（毎月1回） ・「大人のくらし塾」の開催（9月・12月の2回） ・「防府図書館利用者懇談会」の開催(11月） ②資料展示・展覧会業務 ・展示ケース・中央カウンター前・児童カウンター前での月例資料展示、新刊コーナー横・ヤング図書コーナー前でのミニ資料展示の定期的な実施 ・新聞・雑誌コーナー壁面での市民の作品展覧会の開催		
事業実施 状況	①イベント・懇談会業務 ・第14回「防府市子ども読書フェスティバル」(6月8日(日)開催）において、絵本作家さいとうしのぶ氏を講師に迎え、絵本ライブやワークショップを実施 ・さんさんおはなし会を毎月第3日曜日に開催 ・「防府図書館ビブリオバトル」を11月9日（日）、3月22日（日）に開催 ・「月いちキネマ」を毎月1回開催 ・シニア向け実用講座「大人のくらし塾」では、第1回目に「隠れた衰え見つけませんか？自主ストレッチで今を知ろう！」（9月6日（土））を、第2回目に「眠りは脳と心身の栄養～日々を健やかに暮らす～」（1月24日（土））を実施 ・「防府図書館利用者懇談会」を11月27日（木）に開催 ・「クリスマスおはなし会」を12月21日（日）に開催。職員がサンタクロースやトナカイに扮し好評 ②資料展示・展覧会業務 ・展示コーナー・中央カウンター前・児童カウンター前での月例資料展示を36回、新刊コーナー横・ヤング図書コーナー前でのミニ資料展示を53回実施 ・ブラウジングコーナー壁面において「布絵本「結う」」の作品展示を実施 ・上山満之進の部屋において「上山満之進と三哲文庫」の常設展示を実施 ・防府市高齢福祉課の企画で「認知症カフェ」のパネル展示やメッセージツリーの展示を実施（9月3日（水）～29日（月）） ・図書館クラブの作成したおすすめ本のPOPを展示（12月11日（木）～1月15日（木））		
課題等	各行事における参加者の増加		
自己評価	概ね計画どおり実施、ワークショップや「大人のくらし塾」は好評	評価	A

	（2）生涯学習グループ活動を奨励し、その育成を図る図書館			
	R7年度 事業計画	①生涯学習グループ活動奨励・施設利用等許可業務 ・生涯学習グループへの機会・場・設備・資料等の提供と活動支援の推進		
	事業実施 状況	①生涯学習グループ活動奨励・施設利用等許可業務 ・生涯学習グループの活動拠点としての図書館の活用を推進するため、研修室他、集会スペースの利用許可等の業務を適正に行い、機会・場・設備・資料等を各団体に提供 ・市内中学生を対象とした図書館を活用したクラブ活動開始（5月1日（木））、研修室提供		
	課題等	生涯学習グループ及び会員数の増加		
	自己評価	概ね計画通りできた	評価	B

【図書館協議会の意見】
3　事業実施内容が多岐に渡り、参加者が増加しているため、評価出来る。
3-(1)　「子ども読書フェスティバル」や「図書館まつり」が年々人々に知られ、たくさんの入場者であふれることは喜ばしい。これらにより図書館の来場者が増えればよい。
3-(1)　「大人のくらし塾」は、主に高齢者を対象として、実際に暮らしに役立つ講座となっており、他機関の専門家を招いて開催される意欲的な取組であり評価できる。
3-(1)　毎年、利用者懇談会を開催されていることは評価できる。
3-(1)　資料展示や展覧会業務は回数が多く、企画や準備が大変だと思うが、来館した方には今回はなんだろう、という来館する楽しみの1つになるので、今後も取り組んでほしい。特に資料展示は、毎回素晴らしいと思う。防府図書館の個性あふれるものである。
3-(1)　新たな取組を行うことも大切かもしれないが、現在行っているイベントを整理、統合していくことも必要である。
3-(1)　展示について、ポスターが掲示してある時は、同時に本の展示をしてもらえると手に取りやすい。
3-(2)　地域部活動の取り組みで、図書館での展示を行った際、その展示の指導に図書館職員があたったことは、素晴らしい。今後も無理のない範囲で支援を望む。
3-(2)　地域で活動している団体を取り上げ、紹介するなどして、図書館だけでなく地域ぐるみで読書活動を推進していることをアピールするのもよいと思う。

4　地域の歴史や文化を大切にするとともに、国際理解を深めていく図書館

（1）地域（郷土）資料を、積極的に収集・整理・保存・提供する図書館

R7年度事業計画	①地域(郷土)資料収集業務 ・地域資料、特に防府市関係資料についての、特徴的なコレクション形成の推進 ・年間郷土資料収集目標冊数450冊		
事業実施状況	①地域(郷土)資料収集業務 ・地域資料、特に防府市関係資料について情報を収集し、防府図書館独自の特徴的なコレクションを形成 ・年間郷土資料購入冊数52冊		
課題等	郷土資料に関する出版情報収集の強化		
自己評価	概ね計画通りできた	評価	B

（2）地域（郷土）の歴史や文化に係る事業を積極的に行う図書館

R7年度事業計画	①上山満之進と三哲文庫顕彰業務 ・展示室常設展示「上山満之進と三哲文庫」の展示替え ・ブラウジングコーナーでの上山満之進関連展示（9月） ②「防府史料」刊行業務 ・防府史料第75集の刊行とホームページへの掲載(3月)		
事業実施状況	①上山満之進と三哲文庫顕彰業務 ・上山満之進の部屋において「上山満之進と三哲文庫」を常設展示 ・「上山満之進の部屋」のバナーを設置（5月28日（水）） ・上山満之進の部屋のパネル及び同部屋への案内板を設置 ・ブラウジングコーナー壁面において「上山満之進の生涯」と題したパネル展示を実施（10月10日（金）～11月17日（月）） ②「防府史料」刊行業務 ・防府史料第75集『周南先生文集　初編　十』(山県周南・著)を3月16日（月）付けで刊行し、電子図書館へ登録		
課題等	郷土史、郷土文学に関する造詣の深化		
自己評価	「上山満之進の部屋」のバナーや案内板等を設置した	評価	A

	（3）姉妹都市などの図書館との交流事業を推進し、国際理解を深めるための資料を積極的に収集・整理・保存・提供する図書館			
	R7年度 事業計画	①春川市立図書館との資料交換業務 ・大韓民国春川市立図書館との資料交換と市民への提供(年1回、100冊程度交換)		
	事業実施 状況	①春川市立図書館との資料交換業務 ・大韓民国春川市立図書館との資料交換協定に基づき100冊程度の資料を相互に寄贈し、受贈した資料を広く市民に提供		
	課題等	外国語あるいは外国文化に対する職員の関心の深化		
	自己評価	概ね計画通り実施できた	評価	B

【図書館協議会の意見】
4　情報収集と発信が必要だが、難しさがある。他部局、機関との連携が必要である。
4　歴史ある防府市は、素材には事欠かないはずなので、他の機関と連携しながら進めていくとよい。
4-(1)　防府市出身の偉人については、歴史上の人物や、今まで取り上げた人物以外をクローズアップしてもよいと思う。
4-(2)　上山満之進翁顕彰の取組(パネル展示、バナーや案内板設置等)は、評価出来る。
4-(2)　例年通り、防府史料75「周南先生文集初編十」を刊行し、電子図書館へ登録・公開されたことは、十分に評価に値する。また、郷土資料がログインなしで読むことができるのは素晴らしい。
4-(2)　地域の歴史や文化に係る事業を積極的に行うことは、防府図書館の特色のひとつで、強みであり評価できる。引き続き、実施されることを期待している。
4-(2)　市役所8階文化センターで開催の「上山満之進と東台湾臨海道路」特別展で絵画「東台湾臨海道路」が公開された。資料・式服・胸像が展示され、多くの来場者があったと聞く。今後も、上山満之進翁の功績を多くの方に広めてほしい。

5　様々な教育文化施設とのネットワークを進め、サービスする図書館				
（1）学校や公民館との連携を深め、支援事業・協力事業を推進する図書館				
R7年度 事業計画	①学校図書館支援業務 ・学校図書館とのネットワーク・システムを活用した学校支援図書の利用促進 ・学校司書の研修の機会や場の提供 ②「地域文庫」・「貸出文庫」・団体貸出業務 ・地域文庫・貸出文庫の利用促進			
事業実施 状況	①学校図書館支援業務 ・学校図書館とのネットワーク・システムを活用した学校支援図書貸出業務 ・学校司書の研修の機会や場を提供 ・小学校で開催される選書会のための図書貸出等、学校司書との連携を重視 ②「地域文庫」「貸出文庫」、団体貸出業務 ・市内15か所の公民館に配本所を設置、200冊の図書を3か月に1回交換 ・市内小学校に対し貸出文庫を実施 ・市内の施設・団体等の読書活動を支援する団体貸出業務を実施するとともに、小学校留守家庭学級を対象とした貸出のための選書サービスを実施			
課題等	司書教諭や学校司書との更なる連携			
自己評価	概ね計画通り実施できた		評価	B

（2）他の図書館や博物館・美術館との相互協力を推進する図書館				
R7年度 事業計画	①他の図書館や文書館・博物館・美術館との連携業務 ・他の図書館との資料相互貸借・レファレンス協力・合同研修等の推進 ・文書館・博物館・美術館との連携強化 ②本財団内連携業務 ・財団内連携推進会議の開催(随時) ・文化事業との連携推進 ・科学事業との連携推進 ③行政との連携業務 ・市関係各課との連携推進			
事業実施 状況	①他の図書館や文書館・博物館・美術館との連携業務 ・県内外の図書館との資料相互貸借・レファレンス協力を実施 ・山頭火ふるさと館の自由律俳句大会のための投句箱を設置（応募期間5月1日（木）～10月31日（金）） ・「山頭火を学ぶ会」に講師として職員を派遣（12月24日水）） ・第27回図書館振興県民のつどいにおいて、オンライン図書館サミットに参加。（10月18日(土)） ・山口県及び島根県の7市町村が合同で、「ナナシマチの図書館をめぐるスタンプラリー」を開催（10月19日（日）～12月20日（土）） ・上記スタンプラリーの一環で、元図書館長で山口県方言研究家の森川信夫氏を講師に迎え、「面白くて為になる山口弁よもやま話」の講演会を実施（11月30日（日）） ②防府市文化振興財団内連携業務 ・財団内連携推進会議を随時開催し、連携事業について検討・協議 ・アスピラートの「Trick　Art展」の関連展示として「だまし絵・トリックアートの魅力」を実施（8月6日（水）～8月16日（土）） ・アスピラートの企画展「ヨシタケシンスケ展かもしれない」に伴い、館内ブラウジングコーナーにおいて資料展示を実施（2月21日（土）～4月12日（日）） ・ソラールとの連携企画「読書感想文のヒント」を実施、理科に関する課題図書3冊について、科学館学芸員と図書館司書が異なる視点でヒントを提示（7月2日（水）～9月1日（月）） ・「紅葉どんぐり便」の受付窓口を図書館と移動図書館車に設置（11月1日（土）～22日（土）） ③行政との連携業務 ・市高齢福祉課と連携し、9月の認知症月間にあわせて「読む・知る・認知症」の展示を実施。（9月3日（水）～10月6日（月））。この間、市は認知機能をチェックできる音声アプリONSEIの体験会を実施（9月18日（木）、19日（金）、21日（日）） ・市文化振興課による「上山満之進特別展」に伴い、上山翁の各種資料、式服、胸像等を提供（11月8日（土）～16日（日））			
課題等	県内外の図書館等との連携強化			
自己評価	財団内各施設や行政との連携業務を積極的に実施した		評価	A

【図書館協議会の意見】
5-(1) 本好きなこどもの育成には、学校の図書館活動が大切である。
5-(1) 学校支援図書の貸出や学校司書との連携など、学校図書館の重視を高く評価する。引き続き支援を望む。
5-(1) 学校図書館との連携は必須であると思うが、学校の教職員に負担のかからないような配慮を望む。
5-(2) 図書館同士だけではなく、ソラールやアスピラート、山頭火ふるさと館とも連携しており評価できる。こうした連携・活動の多様化がみられ、非常に良い。
5-(2) 例年通り、防府市文化振興財団内連携事業を開催されたことは、指定管理者である文化振興財団が運営している防府図書館ならでの特徴のひとつであり、評価できる。継続を強く希望する。
5-(2) 市高齢福祉課や文化振興課との連携業務を積極的にされており大変評価できる。図書館職員の方の負担にならない程度で、上記の部署はもとより、他部署との連携もできるとよい。
5-(2) 行政との連携は、もっと増やせるのではないかと思うので、図書館からのアプローチにも期待したい。

6　こどもたちの読書活動を進めていく図書館

（1）こども読書活動推進を図るための研究と事業を、積極的に行う図書館

R7年度事業計画	①こども読書活動推進業務 ・「子ども図書館員」の開催(7月～8月に2回) ・「第13回防府市図書館を使った調べる学習コンクール」の防府市教育委員会との共催 ・「チャレンジ！調べる学習」の開催（3回） ・「読書感想文教室」の開催（7月～8月に2回） ・「おはなし会」の開催（家庭の日・クリスマス） ・職場体験・図書館見学等の奨励 ・公共施設等での出前講座・出張イベント等の開催		
事業実施状況	①こども読書活動推進業務 ・「子ども図書館員」を7月28日（月）と8月4日（月）に開催（参加者数17人） ・「防府市図書館を使った調べる学習コンクール」を防府市教育委員会と共催（応募作品数：小学生25点・中学生7点） ・「チャレンジ！調べる学習」を7月13日（日）に開催（参加者数10人） ・「読書感想文教室」を7月26日（土）、27日（日）に開催（参加者数23人）、参加者は先着順ではなく、抽選制で決定 ・「さんさんおはなし会」を毎月第3日曜日に開催 ・「クリスマスおはなし会」を12月21日（日）に開催（参加者数22人） ・職場体験・図書館見学等を受入（職場体験：12件17人、図書館見学：8件487人） ・えんしん幼稚園に出張して、絵本の読み聞かせを実施（5月21日（水）、6月23日（月）） ・図書館クラブに対して館内案内・館内ツアーを実施（5月1日（木）） ・図書館クラブのPOP展示の指導のため職員を派遣（12月11日（木））		
課題等	調べる学習コンクール出品数の増加		
自己評価	概ね計画通りできた	評価	B

（2）こども読書活動推進のためのボランティア活動を奨励し、その育成を図る図書館

R7年度事業計画	①ボランティアとの連携・協働業務 ・ボランティアとの連携・協働の推進 ・ボランティア主催行事・研修等における図書館職員のブックトーク等の実施		
事業実施状況	①ボランティアとの連携・協働業務 ・「第14回防府市子ども読書フェスティバル」を実行委員会、ボランティア団体と協働で開催 ・学校図書ボランティアネット・防府においてブックトークを実施（6月20日（金））		
課題等	ボランティアとの協働事業の更なる推進		
自己評価	概ね計画通りできた	評価	B

【図書館協議会の意見】
6-(1) 「読み放題パック」は評価できる。
6-(1) 「防府市図書館を使った調べる学習コンクール」の応募点数が減少している。出品数が増加するような取組が課題である。
6-(1) 毎年「読書感想文教室」を開催されていることは素晴らしい。図書館職員にはかなり負担になるかと思うが、継続していただきたい。
6-(1) 図書館で活動する地域クラブ活動である「図書館クラブ」への指導は、中学生の興味・関心を広げるものとなった。図書館の支援を評価する。もっと周知され、図書館を身近に感じてほしい。
6-(1) こどもを対象としたイベントや展示等については工夫があり、評価できる。
6-(1) こどもの利用者自身がどうしたらよいか、何をしたいかを考える場があってもよい。現在も行っていると思うが、こどもの利用者の生の声を拾い上げて、図書館サービスに反映することができれば、また利用したいというこどもが増えるかもしれない。
6-(1) 図書館見学には8件487人の参加がある。各小学校の社会見学のコースに図書館を入れてもらうように要望するとよい。

7　障害者や高齢者に優しい図書館

（1）障害者や高齢者が、気軽に楽しく簡単に利用できる図書館

R7年度事業計画	①障害者・高齢者への資料・情報提供サービス業務 ・点字本・大活字本・音声資料・電子書籍等の整備・充実 ・視覚障害者用音声付インターネットサービス利用の促進 ・12月の月いちキネマはバリアフリー映画を上映		
事業実施状況	①障害者・高齢者への資料・情報提供サービス業務 ・点字本・大活字本・音声資料・電子書籍等を収集・整備 ・郵送貸出、視覚障害者用音声付インターネット設備・電子図書館等のサービスを実施 ・特別な配慮を必要とする子どもを対象とした「りんごの棚」を設置（4月1日（火）） ・市障害福祉課の協力を得て、防府図書館の障害者等用サービスについて、相談支援事業所の相談支援専門員の会議（8月29日（金））及び障害児を持つ保護者の集い（9月1日（月））において説明を実施		
課題等	障害者や高齢者の電子図書館利用促進		
自己評価	「りんごの棚」を設置した 障害者等用サービスの周知を図った	評価	A

（2）視覚障害者や高齢者のための対面朗読、音訳図書製作、郵送貸出などのサービスを、積極的に行う図書館

R7年度事業計画	①対面朗読・音訳図書製作・郵送貸出等の業務 ・対面朗読・音訳図書製作・郵送貸出等のサービスの推進 ・「防府図書館ひなぎくネット」（国立国会図書館が制作・収集した音声デイジー等の視覚障害者等用データ等を提供するサービス）の周知と利用促進		
事業実施状況	①対面朗読・音訳図書製作・郵送貸出等の業務 ・対面朗読（0件）、郵送貸出（29件） ・防府図書館障害者等用サービス「ひなぎくネット」の周知と利用促進		
課題等	障害者や高齢者のためのサービスの周知		
自己評価	概ね計画通りできた	評価	B

	（3）障害のある利用者のためのボランティア活動を奨励し、その育成を図る図書館			
	R7年度 事業計画	①障害のある利用者のためのボランティア活動支援業務 ・ボランティア活動への支援 ・ボランティアによる施設・設備・資料等の活用の促進		
	事業実施 状況	①障害のある利用者のためのボランティア活動支援業務 ・ボランティア団体の会員募集の支援として、ホームページへの掲載、チラシ・冊子の作成・配布を実施 ・ボランティア活動を支援し、ボランティアによる施設・設備・資料等の提供 ・視覚に障害がある人々へ市広報等を録音し届ける活動をしている「翠の会」へ図書館内各種施設を提供		
	課題等	次世代を担うボランティアの育成		
	自己評価	概ね計画通りできた	評価	B

【図書館協議会の意見】
7　障害者の方の欲求は、表面化するものは少なく、場所を図書館に限定すると難しいと思うが、障害者や高齢者の生の声を聞き、サービスに落とし込んでいくことが必要である。課題である。
7-(1)　駅近にありながら、入り組んだ公共施設の3階にあることで、図書館の場所がわかりにくいのが残念だ。信号機や電柱などに図書館の位置表示の設置を要望する。
7-(1)　計画通り実施できたと評価Aをつけている。今後も継続をお願いしたい。
7-(1)　市障害福祉課の協力による相談支援事業所の相談支援専門員会議及び障害児を持つ保護者の集いで図書館の障害者サービスについて説明されたことは評価できる。利用につながる一歩と思う。これからも、関係団体との連携を期待する。
7-(1)　読書バリアフリーに向けた特別な配慮を要するこどもを対象とした「りんごの棚」の設置を高く評価する。また、表示が大きくなり見やすくなった。一般の方へもっとアピールするとよい。
7-(2)　文字を読むことに負担がある方でも、文字に触れる機会が確保できるので、オーディオブックの蔵書が今後、充実していくと良い。